記 載 例

NO.

（様式 1）

履 歴 書

年 月 日現在

(ふりがな) 氏 名	○○ ○○ 印 押印をお願いします。	生年月日 和暦（西暦）	昭和○○年○○月○○日生（○○歳） （旧姓 ）
現 職	◎◎大学 □□学部 講師	連絡先	〒000-0000 ○○市××町△丁目□番地 電話（000）-0000-0000 ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ 0000@000.ne.jp
現 住 所	〒000-0000 ■■市◇◇町△丁目×番地		電話（000）-000-0000
学 歴 和暦（西暦）	昭和○○年（△△△△年）○○月 ■■高等学校 卒業 昭和○○年（△△△△年）○○月 △△大学薬学部 入学 平成○○年（△△△△年）○○月 同 卒業 平成○○年（△△△△年）○○月 △△大学大学院薬学研究科（○○系）入学 平成○○年（△△△△年）○○月 同 修了		
学 位 和暦（西暦）	平成○○年（△△△△年）○○月 博士（××学） （○○大学 第○○号） 「○○○○○○○に関する研究」 学位論文の題目を併記してください。		
免許・資格 和暦（西暦）	平成○○年（△△△△年）○○月 薬剤師免許取得（登録第○○○○○○号）		
職歴・研究歴 和暦（西暦）	平成○○年（△△△△年）○○月 △△大学□□学部 助教 勤務 平成○○年（△△△△年）○○月 △△大学□□学部 講師 勤務 平成○○年（△△△△年）○○月 △△大学□□学部 講師 退職 平成○○年（△△△△年）○○月 ◎◎大学□□学部 准教授 勤務 現在に至る		
賞 罰 和暦（西暦）	平成○○年（△△△△年）○○月 ××学会 ◎◎賞受賞		

和歌山県立医科大学

記　載　例

（様式　３a）

著　　書	
番　号	（単著）著者、書名、総頁、発行所、発行地、発行年 （共著・分担執筆）著者名、分担題目、書名、編者名、初頁～終頁、発行所、発行地、発行年
1	（単著） 華岡太郎＊：「卵巣の内分泌学」 総406頁、診断と治療社、東京、1995
2	（分担執筆） Herman R, Freedman W, Monster AW and Hanaoka T＊: A systematic analysis of myotatic reflex activity in human spastic muscle. In “New Development in Electromyography and Clinical Neurophysiology”(Ed.) Desmedt JE, pp 556-578, S Karger, Brussels, 1994

（様式　３b）

原　　著 （審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録などは含めない。）	
番　号	著者名、題名、誌名、巻、初頁～終頁、年、ＩＦ
1	華岡太郎、和歌浦花子＊： 糖尿病患者の色覚異常について．糖尿病 33: 675-680,1993
2	Wakaura H and Hanaoka T＊: Sensory response of cortical neurons in the anterior ectosylvian sulcus, including the area evoking eye movement. Brain Research 575: 181-186,1996 IF＝2.389

（様式　３c）

総　　説	
番　号	著者名、題名、誌名、巻、初頁～終頁、年、ＩＦ
1	華岡太郎＊：痛みの分子生物学ーペプチド発現と細胞性癌遺伝子．ペインクリニック 12:17-24,1990
2	和歌浦花子＊，華岡太郎：動脈硬化巣におけるコラーゲンおよび関連酵素の分布．動脈硬化 19:601-604,1991
3	Hanaoka T＊, Wakayama H and Minakata K: Neurogenic control of cerebral circulation. Journalof Cerebral Blood Flow & Metabolism 29: 1655-1667, 2009 IF=5.673

記　載　例

（様式　３e）

学　会　発　表

（国内学会、国際学会に分けて記載する。）

番　号	発表者名、演題名、学会名、場所、年

（国内学会）

＊シンポジウム

1　華岡太郎：Dynorphin(1-13)のモルヒネ鎮痛と耐性形成におよぼす影響．第６回鎮痛薬オピオイドペプチドシンポジウム，長崎，1996

＊一般演題

2　華岡太郎：モルヒネ鎮痛の胎児脳形成に及ぼす影響について．　第３回脳神経学術集会，大阪，1996

（国際学会）

＊シンポジウム

3　Hanaoka T, Saika M and Minakata K: Expression and regulation of neuropeptides in ratfacial motoneurons. ⅦⅠ International Symposium on Facial Nerve, Cologne, Germany,1992

＊一般演題

4　Hanaoka T, Saika M and Minakata K: Halothane constricts mesenteric artery transiently by releasing Ca++ from the sarcoplasmic reticulum. Annual Meeting of American Society of Anesthesiology, New Orleans, USA, 1992

（様式　３g）

加入学会および社会における活動

（主な学会名、役職名および学術雑誌の編集委員等を記入する。併せて、加入・活動期間等も記入する。）

（加入学会）

○日本××学会（2005年4月～現在）
　評議員（2012年4月～現在）

○和歌山▲▲学会（2006年1月～2008年12月）
　事務局責任者（2007年4月～2008年12月）

○近畿■■学会（2010年4月～現在）

（学術雑誌の編集委員等）

○Deputy Editor
　Brain Res.　(2011年4月～2013年3月)

（その他社会における活動）

○日本学術振興会◇◇委員会専門員（2009年12月～2010年11月）